



ひろげよう! まちづくりの輪 ～手と手をつなぐ大家族リレー～



まちづくり協議会で汗を流す方の、まちづくりへの参画のきっかけ、思いなどを紹介します。

高浜まち協 石川定次さんからバトンタッチ!

○高取まち協 荒川昭治さん

(副会長・稗田川清流まつりプロジェクトチームリーダー)



▲荒川昭治さん

◆荒川さんが、まちづくりに関わるようになったきっかけを教えてください

高浜市で資源ごみの分別活動が始まった年に、町内会で環境部会に縁があったのがきっかけです。その後「稗田川かるがも会」を地元の皆さんと立ちあげ、ボランティア活動をしていました。まち協は、設立準備委員会が発足したときから、他の団体の皆さんとともに活動を続けています。きっと私自身、地元の皆さんとともに「わいわいがやがや」と楽しみながら活動する「チョコボラ」活動(ちよこっとボランティア)が好きだからでしょうね。



▲みんなで企画会議

◆今年、高取まち協が発足して5周年という節目の年ですね。

高取まち協の発足当時は、町内会活動との役割が理解できず、困惑しながらの活動でした。地域の問題点・高取地区のあるべき姿・自分たちでできることなどをアンケート調査で確認し、ワークショップの手法であるKJ法を活用しながら、みんなでとことん話し合いました。それを年度活動計画に反映させ、皆さんと取組みを進めて早や5年。振り返ってみると、まちが変わってきた実感があります。子どもたちからお年寄りまで、それぞれができることを協力し、行政とも協働して着実に進めてきた結果だと思えます。

そして、9月に開催した、まち協設立5周年記念事業「稗田川清流まつり」も「みんなで、明るく楽しいまちづくり」の言葉とおりの活動ができました。みなさん、お疲れさま。これからも元気に楽しく、子々孫々へ繋げましょう。



▲四季折々楽しめる稗田川に(花木の植栽)

◆荒川さんの「こんなまちにしていきたいな」を教えてください!

高浜市には、小学校区ごとの良さがあ、特徴があります。また、住民の考えも異なります。しかし、何かひとつに結びつものはないか。例えば、高浜南部の「鬼のみち」、高浜の「桜のみち」、吉浜の「海のみち」や「人形小路」、高取の「川のみち」、翼の「絆のみち」などなど、こんな道が繋がったらすごいだろうと思います。5つのまち協が力を合わせた時こそ、活動の成果があがり、高浜市が光り輝くのではと考えます。また、稗田川の「花と緑の公園」にも大勢の人が来て、いっしょに楽しんでいただけることを望んでいます。

特派員2期生 任期の最終年度を迎え… 高取まち協特派員からのメッセージ

■内田徹チーフ 「お疲れさま」「ありがとう」、温かい声かけ、和やかな雰囲気の中で、楽しく活動に参加しています。活動の一つに、稗田川を花と緑でいっぱいにし、ふれあい憩いの場にしていこうという活動があります。これからも四季折々の稗田川の自然に親しんでいきたいと思えます。

■中川幸紀特派員 まち協活動を通じて「自分の地域のためにもっと貢献したい、何かできることをしたい」など、地域に住む一人の人間として、地域のことをより身近に感じるきっかけとなりました。こうした想いを大切に、今後も関わっていきたく思います。

■中根茂三特派員 高取で活動していつも思うのは、稗田川とその堤防の景色はうらやましい、ということです。高取小の子は幸せだと思いますよ。この景色は思い出に残るでしょう。この景観がいつまでも守られるようにしたいですね。

■柘植一馬特派員 これまでは、稗田川に花が咲いたり、草が刈られても関心がありませんでしたが、行事に参加したり、まち協の皆さんと活動することで新しく気づくことがたくさん出てきました。実際に中に入らなければわからないことばかりだと、改めて感じています。



▲左から柘植一馬特派員、中川幸紀特派員、内田徹チーフ、中根茂三特派員

*まち協特派員…行政職員の所属部署に関係なく、チーフ1名(管理職)を含む4名の特派員により、小学校区ごとにチームを編成し、まちづくり協議会の会合への出席や活動のサポートなどを行います。任期は3年。